

## 2変数完全数問題 $b =$ 奇数解の考察

高嶋耕司

2019年12月12日

2変数完全数問題は、自然数  $a, b$  がどのようなときに次の等式を満たすかという問題である。

$$\frac{\sigma(a)}{a} = \frac{b}{\varphi(b)} \quad (1)$$

ここで、 $\sigma(n)$  はユークリッド関数（自然数  $n$  のすべての約数の和）、 $\varphi(n)$  はオイラー関数（自然数  $n$  以下で  $n$  と互いに素な自然数の個数）である。

この問題の  $b$  の奇数解に制約（ $b$  が5以上の相異なる2つの素数の積のとき、等式 (1) は成り立たない）を見つけ、紹介したところ、水谷氏からエレガントな証明方法のコメントをいただいた。そこで、その方法を用いて、 $b =$  奇数解を考察する。

定理1  $b = p$  ( $p$ : 奇素数) のとき、等式 (1) の  $b$  解は3に限られる。

証明:  $b \geq 5$  で式 (1) が成り立つと仮定する。

$$\text{右辺} = \frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{5}{4}$$

$$\text{左辺} = \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{3}{2} \quad (\because a \text{ は偶数})$$

$$\frac{6}{4} \leq \frac{\sigma(a)}{a} = \frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{5}{4} \quad \text{となり矛盾する。}$$

$b = 3$  のとき、

$$\frac{b}{\varphi(b)} = \frac{3}{2}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{3}{2} \quad (a = 2 \text{ のとき等号成立})$$

なので、 $b = 3, a = 2$  が等式 (1) の解となる。

(証明終)

定理 2  $b = pq$  ( $p, q$  は奇素数,  $p < q$ ) のとき, 等式 (1) の  $b$  解は  $3*5$  または  $3*7$ .

証明:  $p \geq 5$  で式 (1) が成り立つと仮定する.

$$\text{右辺} = \frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{5}{4} * \frac{7}{6} = \frac{35}{24}$$

$$\text{左辺} = \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^3 - 1}{2^2} = \frac{7}{4} = \frac{42}{24} \quad (\because a = 2^e u, u : \text{奇数}, e \geq 2)$$

となり矛盾する. よって,  $p = 3$  に限られる.

$q \geq 11$  のとき, 式 (1) が成立すると仮定する,

$$\text{右辺} = \frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{11}{10} = \frac{33}{20}$$

$$\text{左辺} = \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^3 - 1}{2^2} = \frac{7}{4} = \frac{35}{20}$$

となり矛盾する. よって,  $b$  が解になる可能性は  $b = 3*5$  または  $3*7$  に限られる.

$b = 3*5$  のとき,

$$\frac{b}{\varphi(b)} = \frac{3}{2} * \frac{5}{4} = \frac{15}{8}, \quad a = 2^e u \quad (e \geq 3, u : \text{奇数})$$

$$\frac{\sigma(a)}{a} = \frac{2^{e+1} - 1}{2^e} * \frac{\sigma(u)}{u} \geq \frac{2^4 - 1}{2^3} = \frac{15}{8}$$

不等式の等号は  $e = 3, u = 1$  のとき成立する. ゆえに  $a$  の解は  $2^3$ .

また,  $b = 3*7$  のとき,

$$\frac{b}{\varphi(b)} = \frac{3}{2} * \frac{7}{6} = \frac{7}{4}, \quad a = 2^e u \quad (e \geq 2, u : \text{奇数})$$

$$\frac{\sigma(a)}{a} = \frac{2^{e+1} - 1}{2^e} * \frac{\sigma(u)}{u} \geq \frac{2^3 - 1}{2^2} = \frac{7}{4}$$

不等式の等号は  $e = 2, u = 1$  のとき成立する. ゆえに  $a$  の解は  $2^2$ .

よって, 解は,  $b = 3*5, a = 2^3$ , または,  $b = 3*7, a = 2^2$  に限られる.

(証明終)

定理3  $b = pqr$  ( $p, q, r$  は奇素数,  $p < q < r$ ) のとき, 等式 (1) の  $b$  解は  $3 * 5 * r$ .

証明:  $p \geq 5$  で式 (1) が成り立つと仮定する.

$$\text{右辺} = \frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{5}{4} * \frac{7}{6} * \frac{11}{10} = \frac{77}{48}$$

$$\text{左辺} = \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^4 - 1}{2^3} = \frac{15}{8} = \frac{90}{48} \quad (\because a = 2^e u, e \geq 3, u : \text{奇数})$$

となり矛盾する. よって,  $p = 3$  に限られる.

$q \geq 11$  のとき, 式 (1) が成立すると仮定する.

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{11}{10} * \frac{13}{12} = \frac{143}{80}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^4 - 1}{2^3} = \frac{15}{8} = \frac{150}{80}$$

となり矛盾する. よって,  $5 \leq q \leq 7$ .

$p = 3, q = 7$  のとき,  $r \geq 17$  ならば,

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{17}{16} = \frac{119}{64}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^4 - 1}{2^3} = \frac{15}{8} = \frac{120}{64}$$

となり矛盾する. よって, 解になる可能性があるのは  $11 \leq r \leq 13$  に絞られる.

$p = 3, q = 7$  で,  $r = 11$  のとき,

$$\frac{b}{\varphi(b)} = \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{11}{10} = \frac{77}{40} = \frac{7 * 11}{2^3 * 5}$$

$$a = 2^e 5^k u \quad (e \geq 3, k \geq 1, u : 5 \text{ で割り切れない奇数})$$

$$\frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^4 - 1}{2^3} * \frac{6}{5} = \frac{15}{8} * \frac{6}{5} = \frac{9}{4} = \frac{90}{40}$$

となり矛盾する.

$p = 3, q = 7$  で,  $r = 13$  のとき,

$$\frac{b}{\varphi(b)} = \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{13}{12} = \frac{91}{48} = \frac{7 * 13}{2^4 * 3}$$

$$a = 2^e 3^k u \quad (e \geq 4, k \geq 1, u : 3 \text{ で割り切れない奇数})$$

$$\frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^5 - 1}{2^4} * \frac{4}{3} = \frac{31}{16} * \frac{4}{3} = \frac{124}{48}$$

となり矛盾する.

よって,  $p = 3, q = 7$  のとき解はなく, 解は  $b = 3 * 5 * r$  に限られる. (証明終)

$b = 3 * 5 * r$  で  $r \geq 37$  のとき、次のように矛盾が示される.

$$\text{右辺} = \frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{5}{4} * \frac{37}{36} = \frac{185}{96}$$

$$\text{左辺} = \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^5 - 1}{2^4} = \frac{31}{16} = \frac{186}{96}$$

よって、 $b$  が解になる可能性のある  $r$  の範囲は、 $7 \leq r \leq 31$  に絞られる.

$7 \leq r \leq 31$  の範囲で、これまでと同様の方法で解の有無を調べた結果を表 1 に示す.

表 1  $b = 3 * 5 * r$  のときの解  $a$

|     |    |                |    |       |     |     |     |       |
|-----|----|----------------|----|-------|-----|-----|-----|-------|
| $r$ | 7  | 11             | 13 | 17    | 19  | 23  | 29  | 31    |
| $a$ | 不明 | $2^9 * 31$ が一解 | 不明 | $2^7$ | 解なし | 解なし | 解なし | $2^4$ |

表 1 に示すように、 $b = 3 * 5 * r$  のときの解は、

$$b = 3 * 5 * 11, \quad a = 2^9 * 31$$

$$b = 3 * 5 * 17, \quad a = 2^7$$

$$b = 3 * 5 * 31, \quad a = 2^4$$

の 3 通りがわかっている.

$17 \leq r \leq 31$  の範囲の解はこれらに限られる. 一方、 $7 \leq r \leq 13$  の範囲の解は、これ以外にあるかどうか、今のところ不明である.

以上